

塩竈みなと祭 御座船新造プロジェクト

Shiogama
Minato Festival
New Gozasen
Donations

神々が海を渡る、海上渡御を未来へ

(塩竈みなと祭)は日本三大船祭の1つとして数えられ、日本で唯一の神輿専用の御座船【龍鳳丸】(昭和39年建造)と【鳳凰丸】(昭和40年建造)にそれぞれ御神輿を奉安し、湾内を御巡幸する海上渡御は、みなと祭の最大の見所であり市民の誇りです。

二隻共に現役で60年以上その歴史を紡いできましたが、経年による劣化や損傷も同じく進行しております。毎年、祭事前には修理を行っておりますが、今後修理を続けても約3年が限界だと指摘されております。(塩竈みなと祭)は今日まで塩竈市のみならず、県内外や国内外へ誇れる歴史や伝統を築き上げてまいりました。10年20年先の未来へ「誇り」と「愛着」の醸成を図る為、この度「塩竈みなと祭御座船建設部会」を設立いたしました。

この試みを、塩竈市、志波彦神社鹽竈神社、塩竈市民の皆様、そして民間企業並びに歴史と伝統を愛する方々の連帯により「新しい御座船の新造」の実現を目指し活動を行ってまいります。皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『塩竈みなと祭』

『塩竈みなと祭』は昭和23年、戦後の混乱期に港町塩釜の発展と海上安全・豊漁を祈願する目的で始められた祭典です。

年に一度、みなと祭の時にだけ鹽竈様の御神輿と志波彦様の御神輿との御両社で市内を渡御いたします。海上渡御の際には日本で唯一、神輿専用船【御座船】を使った渡御が行われ、御座船を先頭に大漁旗や吹き流しを飾り付けた100隻を超える大小様々な供奉船を従え浦戸諸島や松島湾(千賀の浦)を巡幸します。外洋へ出掛けて行く様子は豪華絢爛かつ勇壮な光景が繰り広げられ、見ている人々を魅了してしまいます。



わがまち塩竈市の魅力

■ 陸奥国一之宮として、1,200年以上の歴史を持つ鹽竈神社が鎮座していると共に、歴史的・文化伝統的遺産が市内には多く残り、歴史に触れながら街歩きを楽しめます。

■ 主要産業は「水産業」で、その古くは陸奥の国府多賀城への荷揚げ港として、藩政時代には伊達藩の港として、明治以降は国内有数の港湾都市として、また近代になってからは近海・遠洋漁業の基地としても発展してきた街です。現在、《日本一の生鮮マグロの水揚げ港》に代表されるように、新鮮な魚介類が豊富にあり港町独特の食文化がつけられています。

■ 人口に対して寿司屋の店舗数が日本有数の港町です。

■ 「奥の細道」には松尾芭蕉が塩竈から松島へ舟で渡ったことが綴られており、塩竈には松島観光の海の玄関口としての一面もあります。

「御座船」をみんなで 未来に繋げましょう!

振込口座

七十七銀行塩釜支店 普通口座 5040021
塩竈みなと祭協賛会 会長 佐藤光樹

問合せ

塩竈市商工観光課 / 塩竈みなと祭協賛会
TEL 022-364-1165 FAX 022-364-1169
e-mail : kankou@city.shiogama.miyagi.jp

御座船新造へ向け
ご寄付はコチラから

